

授業第5回に関する質問への解答です。

先生の分かる範囲、調べられる範囲でお答えしています。

ついに15ページ分にもなってしまいました。作っている先生もどうかしていると思います。ちゃんと読んでくれている人が先生の原動力です。ありがとう。ありがとう。

なお、過去に答えた質問には解答していませんので、ご注意ください。

では、多かった質問から回答していきます。

また、6ページのQ9から、個別の質問に一気にお答えしています。

※はじめに（再掲）

「なぜ〇〇は××を滅ぼしたんですか？」「なぜ人は争うんですか？」みたいな質問が毎回50人くらいから来ます。気持ちは分かりますし、確かにめちゃくちゃ良い質問なんですけど、一応国が国を滅ぼす理由は、前回の質問に対する答えで書いたので、今回はばっさりカットしています。

あと、国が国と戦争をしたり、人と人が争ったり、差別があったりは、別に大昔に限らず、今でも続いていることです。自分でも、なぜなのかをちゃんと考えてみて下さい。

※追加注意事項

神権政治・神についての質問は、第2回に、「海の民」については第3回に、答えています。参考にしてください。

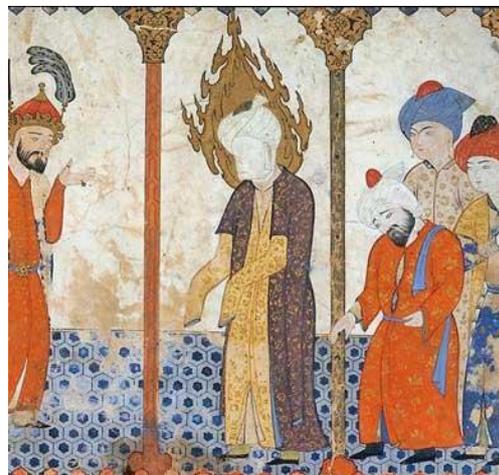
あと、「なぜテーベと言うんですか」「なぜファラオと言うんですか」「なぜアメンホテプ4世と言うんですか」みたいな質問が毎回ありますが、そんな「なぜ空は空と言うんですか」みたいなことを聞かれても困ります。エジプト語上の意味はあると思いますが、それは自分で調べてください。

## Q1 偶像崇拝の禁止についての質問

・ユダヤ人は偶像崇拝が禁止されているのであればどうやって拝んでいたんですか？ ・他にも偶像崇拝が禁止されている宗教はあるか？ ・どうやってヤハウエという神を思い浮かべたのか？ ・偶像崇拝の代わりに何をしていたのか？ ・偶像崇拝の禁止のデメリットは？ ・破った場合の罰は？

「神の像を描かない」というところがピンと来ない人が多いようですが、現代でもイスラームは偶像崇拝を禁じていますし、初期のキリスト教も同様でした（現在でも厳格なキリスト教では禁じているところもありますね）。「神」というのは絵に落とし込めるようなものではない、超絶偉大な存在なので、絵に描いてみんなの適当な想像でイメージしてはいけない……という考え自体は、何となく理解できるのではないのでしょうか。

イスラームにおいては、例えば神だけでなく、イスラームを作った人（ムハンマドと言います）も、偶像崇拝の禁止の対象ですので、こうやって顔が描かれていません。 →



ユダヤ教には様々な戒律（守るべき規則、のようなもの）があり、神に祈る、という行為もよく行われます。じゃあ、どう拝むか、という話ですが、例えば皆さんが「神様、どうかライブのチケットが当たっていますように！」と祈る時に、具体的な神のイメージを浮かべている人はいるでしょうか。エジプトの神のような具体的な姿を描いている人もいるかもしれませんが、ふわっとした、概念というか、光というか、そういう存在として捉えている人もいるのではないのでしょうか。**それ**です。

というわけで、「偶像崇拝の禁止」は、メリット・デメリットというよりは、考えた方の問題、と言った方が良いでしょう。むしろ、その宗教を理解していない人に、神の像を見せられないと布教しにくい、という点で、偶像崇拝の禁止にはデメリットもあります。

## Q2 モーセと預言者についての質問

・ **モーセはどこから来たのですか？** ・ **なぜモーセは預言者として信用されたんですか？**

モーセは『旧約聖書』にめちゃくちゃ出てくる人物なのですが、実在したかは実はちょっとよく分かっていないのです。ヘブライ人の一人ではあったようですが、具体的なことははっきり言えません。以下の内容は、あくまで『旧約聖書』に出てくる伝説上の物語として読んでください。

モーセはもともと、エジプトに住むヘブライ人の子供として生まれましたが、大人になったある日、ヘブライ人がエジプト人に虐待されているのを見て、それを助けるためにエジプト人を殺してしまいます。これにより、モーセはファラオから追われることとなり、アラビア半島に一度逃げ、羊飼いとなります。

ある日、モーセは、火が出て燃えているようなのに燃えていない草（柴）を見つけます。実はこれが、神ヤハウェでした。神はモーセに、エジプトにいるヘブライ人を助け、パレスチナに逃げるよう言った……というか、使命を与えました。この時から、モーセは「預言者」となるわけですね（神の言葉を紙で受け取った、と思っている人がいるようですが、基本的に神はこのように「言葉」で語りかけてきます。





さて、まずモーセは同じヘブライ人たちを説得しなくては行けないのですが、神の言葉を聞いた、と言っても信用してくれない可能性があります。これを想定していた神は、あらかじめモーセに、3つの「奇跡」を起こす力を与えます（モーセ以外にも、いわゆる「預言者」と言われる人は何かしらの奇跡を行っています）。それが、「杖が蛇になる」「手が雪のように白くなる」「ナイル川の水が血に変わる」です。1つ目と3つ目をモーセは実際にヘブライ人やファラオの前で行い、預言者として認められたのです（手が白くなる、の力は使いませんでした）。

### Q3 バビロン捕囚についての質問

- ・なぜバビロン捕囚をしたのか
- ・なぜアケメネス朝はヘブライ人を解放したのか
- ・バビロン捕囚中、ヘブライ人は何をしていたのか

新バビロニアのネブカドネザル2世は、周辺国家の侵略の際に、ユダ王国を征服しました。生き残ったヘブライ人たちは、新バビロニアによって連行され、首都バビロンへと強制移住させられることとなります。

こういった強制移住は、反乱の防止や職人の確保、労働力の確保を目的としたものですが、当時のオリエントではかなり頻繁に行われていたものです。制圧した民族をそのままの場所に住まわせておくと、また力を蓄えて何をするか分からないので、監視の行き届く場所に連れていくとか、あるいは土木作業などの重労働をさせるなどさせていたのです。ヘブライ人たちは牢屋に閉じ込められていたわけではなく、バビロンの町に他のバビロニア人と共に住んでいました。ただ、彼らの故郷であるイェルサレムへの帰還は許されなかったのです。ヘブライ人はこの「捕囚」の間に、他の民族の文化に接したことで、逆に自らの、ヘブライ人の文化を強く意識し、ユダヤ教が生まれることになりました。

一方、アケメネス朝は、アッシリアが強制移住や重税でオリエントを統一したものの失敗に終わったことを知っているため、それぞれの民族の文化・宗教を認める寛容な政策によって、オリエントの統一を目指しました。そのため、新バビロニアを征服した際、ヘブライ人がイェルサレムに戻ることを許したのです。

### Q4 ヘブライ人（ユダヤ人）についての質問

- ・なぜヘブライ人はひどい目にあうことが多いのか（ナチスなども）
- ・ユダヤ人が現在アメリカやイスラエルに多いのはなぜか

ヘブライ人が各地で虐げられている理由は、なかなか一言ではまとめられないのですが、まずエジプトにおいては、ヘブライ人がやや裕福であったため、ねたまれたから、という理由があると言われています（詳しくは分かりません）。バビロン捕囚については、当時の新バビロニアの強制移住政策を適用されてしまったため、としか言いようがありません（他の民族も同じような目にあっていました）。

その後、「ユダヤ教」という、当時のオリエントでは異質だった一神教を確立したこと、出エジプトやバビロン捕囚などを経てイェルサレムという町に非常にこだわりをもったこと、選民思想が他の人から見ると周りを見下しているように見えること、などを理由に、他民族との衝突が多くなります。現在ユダヤ人がアメリカに多いのも、ドイツが第二次世界大戦の時に、ユダヤ人の迫害・虐殺を進め、ヨーロッパにいたユダヤ人たちがアメリカに逃げたためです。また、現在イスラエルと呼ばれている国は、ヨーロッパにおける弾圧を逃れたユダヤ人たちが、かつてヘブライ人たちが住んでいた場所に新たに作った国なわけです。

中世のヨーロッパや、ナチスなど、その後もユダヤ人の迫害は続くのですが、その理由については今年、授業1回分を使って考えてもらう予定です。長くなるので、今日はこの辺で。

## Q5 フェニキア文字、アルファベットについての質問

- ・フェニキア人はフェニキア文字で何語だったのですか？
- ・フェニキア文字がどうやって現在のアルファベットにいったのか知りたい
- ・フェニキア人がフェニキア文字っていうのを生み出してアルファベットのもとになるって言うのがちょっとよく分からないです。

フェニキア人が話していた言語は、フェニキア語と言います。ただ、アラム語と比べると、共通語になるほどの広がり方はしなかったのが、世界史的にはあまり重要ではないので説明しませんでした。

「セム語系」というのは、話す言語の大きな分類です。アラビア語も、アラム語も、フェニキア語も、アッシリア語も、アッカド語も、すべてまとめて「セム語系」です。そして、フェニキア人が用いていた言語は「フェニキア語」です。

整理しますと、フェニキア人が、自分たちの話す言語であるフェニキア語を表記するために発明したのが、「フェニキア文字」です。フェニキア人はギリシア人と交易をする際にこのフェニキア文字を使用していたので、このフェニキア文字がギリシアに伝わりました。ギリシア人はギリシア語を話しますが、自分たちの言語を、じゃあ使いやすい「フェニキア語」で表記しよう、となりました。ただ、その際にもっと形を簡略化しよう、ということで、フェニキア文字を改造し、「アルファベット」と呼ばれる文字を作ったのです。最初の頃は大きくて大文字しかありませんでしたが、使われ始めてから1000年くらいしてから、小文字も登場し始めます。

また、アルファベットは、国により形が異なります（今でもそうです）。ギリシアではギリシア文字、イタリアに始まるラテン文字（いわゆるアルファベットとして皆さんが英語で使っているのがコレです）、ロシアで使用されたキリル文字、ドイツ・北欧のルーン文字など、様々な形に分かれていきました。

## Q6 アッシリアの滅亡と4王国分立についての質問

- ・アッシリアはどこが滅ぼしたんですか？ ・滅んだ後に、4つに分かれたんですか？
- ・なぜ、四王国分立になったのか。それぞれ、民族は、どこに移動したのか
- ・アッシリアは新バビロニアとメディアによって滅ぼされたと書いてありますがどういうことですか？

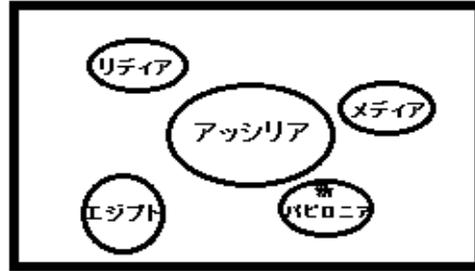
ここ、ややこしいので授業ではきっちり説明していなかった部分です。以下の内容を、誤解しないように、正確に読み取ってください。

さて、アッシリアは一時的にオリエントを統一しましたが、晩年は勢力を弱めていき、滅亡する直前には、すでに周辺に、メディア、リディア、新バビロニア、エジプトが成立していました（もちろんまだ小国ではありましたが）。イメージはこんな感じです。

アッシリアが統一したオリエント



アッシリア滅亡直前くらいのオリエント



そして、弱ったアッシリアを、メディアと新バビロニアの連合軍が攻撃し、アッシリアは消滅しました。その後、4つの国は次第に力を蓄え、「4王国分立」と言えるような状態になったのです（図には載せていませんが、もっと小さな国ならたぶんいくらかでもあります）。

というわけで、当時強かった国が4つあったから、4王国分立になった、という言い方が正しいですね。もちろん、アッシリア人はこのどこかで引き続き住んでいるので、全滅したわけでも消えたわけでもありません。

## Q7 リディアの金属貨幣についての質問

- ・何で出来ていますか？ ・表面に書かれているのは何ですか？
- ・偽造する人はいなかったんですか？ ・重さは？
- ・どうやって貨幣は広まっていったのか？ 配ったのか？
- ・当時のお金(小銭?)は1枚いくらだったのか

はい、右のやつがリディアの金属貨幣です。エレクトロン貨と呼ばれており、砂金（川でとれる金属。「金」と書いてありますが、実際には砂金は金と銀が混ざっています）で作られています。表面には、リディアの当時の国王を象徴するライオンや、コインの重さなどが刻まれています。また、偽造防止のため、印も押されています。



金属を溶かし、型に流し込み作っていたようで、大きさは8種類あったようですが、重さは大きくても14gと、比較的軽いコインだったようです。1番重いコイン1枚で、傭兵の1か月分の給料に相当するそうです。

明らかに国が作ったものですので、まずは国王やその周辺人物が、取引や給料などとして用いていたのではないのでしょうか。当時すでに、金や銀など、金属そのものを、重さをはかって取引する、というやり方は国内で行われていましたが、いちいち重さをはかるのが面倒なので、すぐにこのコインは広まったのではないかと思います。

## Q8 アッシュルバニパル王の図書館についての質問

・今でも残っているのか ・どういった本があったのか

アッシリア滅亡時に、この図書館も放置されました。発見されたのは、1849年のことです。ニネヴェの遺跡を発掘する際に発見され、その後3万個以上の粘土板が発見されました。図書館というよりは、粘土板の保管庫、という感じですね。

アッシュルバニパル王は教養があり、また資料の収集が趣味だったようで、王室の記録、年代記、神話、宗教文書、契約書、王室による許可書、法令、手紙、行政文書などが発見されています。

## Q9 その他

個別の質問に答えていきます。

・ユダヤ人とヘブライ人はイコールですか？

民族としてはヘブライ人と呼ばれます。彼らはその後、ユダヤ教を作り、ユダヤ教徒となったので、ユダヤ人、とも呼ばれるようになりました。ですので、ほぼ同じと考えてよいです。

・アッシュルバニパル王のように、(覚えるのが大変と言ったら失礼ですが)長くて難しい名前の方は今後沢山出て来ますか？

出ます。マルクス=アウレリウス=アントニヌス、とか。むしろ長い名前って、短い「アムル」「アラム」とかより、連呼してると覚えやすくないですか？ 「アッシュルバニパル」って10回リズムカルに繰り返してみてください。

・前回の質問でトルコ、イタリア、ドイツのことについて質問しましたが、最近、我々だ三枚舌Hoiという実況動画を見ていて、いろんな単語や人物名が出てくるのですが、実際にいる人なのか、本当に起こった出来事なのか、分からなかったのが、先生もお忙しいとは思いますが、もしお時間があれば見て頂きたいです。

ちょっとだけ見ました（Hearts of Iron IVの実況であってますよね？）。第二次世界大戦のシミュレーションゲームですね。戦争系シミュレーションゲームは実際の出来事を下敷きにしているので、国名・個人名などは正しいものだと思いますが、同盟関係や新国家の樹立などはプレイヤー次第で変わってしまうので、もちろん史実とはずれていきます。まだ、イギリスとソ連は一時的な同盟関係にあったので、民主主義陣営と共産主義陣営が完全に対立している点は、史実と一番違うところかもしれません。

・齋藤先生はオリエントが4つに分かれた時どの国の国民になりたいですか

……あんまり当時の国民になりたくないですね（治安悪そうなので）。しいて言えば、この頃黒人のファラオがいたというエジプトが面白そうなので、エジプトですかねー。

・アッシュルバニパル王はどんな顔ですか

あんまり図・像は残っていないのですが、同時代に作られたやつだとこれです。→



**・イスラエルの国旗の中心にあるダビデの星はダヴィデ王と関係あるんですか？**

あります。17世紀に、ユダヤ人たちが戦争の際に、士気を高めるため、ダヴィデ王の頭文字D（これをヘブライ人のヘブライ文字ではΔのように書きます）を組み合わせた印を作ろう、と考えたのが最初のようにです。

**・オリエントを統一できる人数をどのように集めたのか**

アッシリアはアッシリア人の国で、最初は小さい国だったのですが、商業によって富を蓄え、強大な軍事力を持つ国家を作りあげました。また、征服した国家の民を大量に捕囚していくというやり方で、征服範囲を広げていったようです。

**・一神教であるユダヤ教はどのようにしてヤハウェを唯一神と決めたのですか**

『旧約聖書』によれば、神がヘブライ人に語りかけ、神はひとつであると述べた、というストーリーになっています。ヤハウェは神の名ではなく、ヘブライ語で「そこにある者」くらいですので、ヤハウェに決めた、という言い方とはちょっと違うかもしれません。

ただ、実際にはヘブライ人たちがいる時から一神教になったはずなわけで、これがなぜ急に起きたのかというところよく分かりません。ただ、バビロン捕囚中に、周囲のバビロニア人たちが信じているような多神教の神々を信じるのが出来ず、独自の神を作り上げた……のではないかな、と思います。

**・昔、石もお金代わりと言ってましたがその石って自分で作ってたんですか？ 偽造し放題じゃないですか？**

石を使っていたのは、新石器時代など超大昔です。きれいな石など、交換する価値がある、とみなされたもののみ、取引されていたのであって、今のお金のようなものを石で作っていたとかそういうわけではありません。

**・なぜ、こんなにも、コロコロと国が変わるのでしょうか？ やはり色々な文化が混じる中東だからでしょうか？**

うーん、というより、実はオリエントに限らず、割と当時の世界中こんな感じですよ。ただ、オリエントは他地域と比べて特に栄えており、文化的な多様さがあったため、多くの民族・国家が成立しました。メソポタミア文明やエジプト文明など、文明が築かれるところは、人口が増えやすく、それだけ争いも多くなります。

**・ダヴィデ王は羊飼いだっただって本当ですか？**

ダヴィデ王ではなく、モーセではないですか？

**・メディアとリディアはなんで名前が似てるのか**

たまたまです。分かります、まぎらわしいですよね……。

**・ヘブライ人の歴史は、旧約聖書に基づいているんですか？ 音声動画の時に聖書が～みたいなこと言っていたので気になりました。**

そうです。『旧約聖書』は、ヘブライ人がユダヤ教を作る際に、自らの歴史として作り上げたもので、例えばモーセについての説明などもすべて『旧約聖書』に基づいています。

**・表のページにあるイラストはラクダですか？**

そうです。アラム人は交易の際に、ラクダを使って移動していました。

**・国の名前に王国が付くのに何か意味はありますか？**

国名をどう呼ぶかは何通りもあり、例えばアッシリアも「アッシリア帝国」と呼ぶことがあります。ただ、「王国」とついている場合は、つまり「国王」がいた国だ、という意味合いが強いです。

**・そもそもアッシリアとかバビロニアとか、誰がどうやって名づけたんですか？**

アッシリアは、アッシリア人の国だからです。「アッシリア」という言葉自体は、彼らがもともといた土地が「アッシュル」と呼ばれていたことに由来しているようですが、本人たちが自称しているというよりは、後の時代に、ギリシアの人々がこう呼んだようです。

新バビロニアや、バビロン第1王朝の名前のもととなったのは、バビロン、という当時のメソポタミアでめっちゃ栄えていた町です。かつてこの地に住んでいたアッカド人たちが、アッカド語で「神の門」を意味する言葉「バーブ・イリ」という名前と呼んでおり、これをやはりギリシア人が「バビロニア」と呼んだことに由来しているようです。

**・モーセとモーゼどっちですか**

どちらでも良いです。発音、または言語上の問題です。

**・統一したときの言語はどうしたんですか**

アッシリアを建国したアッシリア人は、アッシリア語を話していました。ただ、アッシリアの国には、それ以外の民族の方がむしろ多いわけです。ですので、例えばアラム語のような共通語を上手く利用したのではないのでしょうか。

**・ヘブライ人が統一王国が成立したとき、なぜ国王が2人いるのか？**

ダヴィデ王とソロモン王は同時ではありません。統一王国の長い歴史の中で、特に重要な王が、ダヴィデ王、そしてその次に即位した息子のソロモン王、という意味です。

**・ヘブライ人はなぜエジプトに行ったのですか？**

よく分かっていません。飢饉などが理由だったようです。

**・オリエントは4王国分立をしたって事は前の7つの分け方は無くなったんですか？**

前に出た7つの分け方は、あくまで地理上の分類ですので、無くなるとかそういう問題ではありません。4つの大きな国が支配した領域が、たまたまイラン周辺、小アジア周辺、メソポタミア周辺、エジプト周辺だっただけです。

**・使っていた文字は今もその国の人たちは読めるのか**

読めません。楔形文字は1世紀頃、ヒエログリフは4世紀頃に使用されなくなり、もっと書きやすく使いやすい文字に変わりました。ですので、後に文字の解読が必要になったわけです。

**・ヘブライ人はモーセとどこで会っていたのか疑問です**

モーセはエジプトにいたヘブライ人の一人です。

**フェニキア文字のKとOみたいなやつはどうやって読むですか？**

KやOみたいなやつは、文字と文字の間に入れて意味をなしているのだから、単体での読み方はありません。

**・ソロモン王やダヴィデ王は具体的に何をしたか**

ダヴィデ王は、周辺のペリシテ人などを排除し、ヘブライ人の国を強固にした人物です。ペリシテ人最強の人物ゴリアテと戦い、巨石を顔面にめり込ませ勝つなど、勇猛さなどで有名です。また、ソロモン王は賢さで有名な王で、またダヴィデ王が広げた国を整備するなど、内政に力を入れた王です。

**・ソロモン王の子供はなんでエルサレムを治めなかったんですか？**

ヘブライ人は、12の部族に分かれていました。ダヴィデ王がこの12部族をひとつの国にまとめたわけですが、ソロモン王の子供レハブアム王は、あまり寛容ではなく、12部族内での対立が始まってしまいました。このうち10の部族がレハブアム王から離れ、北に独立したイスラエル王国を築き、またレハブアム王は2つの部族を従える南のユダ王国の国王となったわけです。なお、北の10部族は、アッシリアによりイスラエル王国が滅ぼされた後、行方が分からなくなってしまったため、「失われた10部族」とも呼ばれます。

・ **出エジプトのときの経路すごい遠回りじゃないですか？なんで近道しないんですか？**

**エジプトからパレスチナに戻るのにどのくらい時間かかるんですか？**

ヘブライ人は故郷パレスチナに戻りたかったのですが、まっすぐ行くと、ペリシテ人と呼ばれるヘブライ人と仲の良くなかった民族がいたため、いったん南下してシナイ半島を下って行きました。その際に、シナイ山という山を経由するのですが、モーセはここで神から「十戒」と呼ばれる守るべき10の規律を与えられる、という重要なイベントが発生しています。

まっすぐ戻れば1年くらいで移動できると思いますが、ヘブライ人たちは神の怒りを買ったせいで、荒野をさまよいつつ、すぐにはパレスチナに戻れませんでした。そのため、エジプトを脱出してから、40年以上かかってパレスチナにたどり着いたとされています。

・ **旧約聖書と新約聖書の内容には違いはあるんですか。**

全く内容が違います。ざっくり言うなら、『新約聖書』は『旧約聖書』の続編です。

・ **なぜ貨幣ができたのか 物々交換で良いのではないか**

では真剣に、なぜ物々交換では良くないのか、例えば今日から日本が物々交換になったとしたら、どういう点で不便なのかを、よく考えてみてください。かなりたくさん理由があると思います。それでも分からなければ先生に聞いて下さい。

・ **植民市と植民地のちがい**

まずそもそも「植民」というのは、別の国に移住し、その土地を開発していくことを言います。「植民地」というのは、とある国が、他国を侵略し、奪い取り支配下とした場所をまとめてこう呼びます（日本が韓国を侵略した時の韓国は、まさに日本の「植民地」なわけですね）。

一方、「植民市」というのは、侵略したとか奪ったというよりは、新たな土地に進出し、そこに新たな町を作った、というような場合に用いられます。フェニキア人はアフリカに進出し、新たにフェニキア人の町カルタゴを作ったので、この場合は「植民市」と言うのです。

・ **文明が起こってない場所にいる人はまだ、新石器時代のような生活を続けているんですか？**

ある程度はそうです。もちろん、新石器時代よりは多少進んだ活動を行っていますが、メソポタミアやエジプトのように栄えていなかった地域もまだまだこの頃はあります（っていうか日本とかまだ縄文時代ですし）。

・ **『オープンセサミ』ってモーセが海開く時に言った言葉ですか？**

違います。「オープン・セサミ」＝「開けゴマ」は、『千夜一夜物語（アラビアン・ナイト）』という小説集の中に含まれる、「アリババと40人の盗賊」に出てくる呪文で、時期的には今学習している内容と3000年くらいはずれています。

・ **ダビデ像が作られたのってもっと最近ですよ？ダビデ王を想像して作ったんですか？それとも無関係？**

ダビデ像が作られたのは16世紀、キリスト教徒のミケランジェロによって作られました。時期としては3000年くらい後のことです。ミケランジェロはもちろん、ダヴィデ王をイメージしてこの像を作りました。

・なんでキリスト教徒の国じゃないのに、旧約聖書って習うんですか？タナハは習わないんですね。あと、旧約聖書＝タナハ＝コーラン??

質問の意図がよく分かりませんが、まず、日本の高校の授業でなぜ『旧約聖書』について学ぶんですか、という意味なのだとなれば、世界の歴史を学ぶ上で、ユダヤ教・キリスト教・イスラームなど、各地の宗教を学ばないと、当時の人々の考え方がよく理解できないからです。それに日本にもキリスト教徒は200万人くらいいますしね。

ちなみに、授業でも説明したとおりですが、ユダヤ教の教典＝『旧約聖書』です。そして、この600年くらい後に、ユダヤ教の一派であったイエスの改革で始まったのがキリスト教です。ですので、キリスト教とユダヤ教は親戚のような関係にあります。キリスト教徒は新しい教典として『新約聖書』を作りましたが、『旧約聖書』もまた大事な教典の一つとしたわけです。

ただ、ユダヤ教徒にとっては、『聖書』と言えば一種類しかないわけです。そして、その『聖書』（つまり『旧約聖書』）はいくつかのパートに分かれているのですが、これをまとめてユダヤ教徒の言葉では『タナハ』と呼んでいます。つまり、『旧約聖書』＝『タナハ』と言ってほぼ間違いはないですが、『旧約聖書』と言った場合はキリスト教側からの言い方になり、『タナハ』と言った場合はユダヤ教側からの言い方になります。

で、ややこしいのですが、実はイスラームも、ユダヤ教・キリスト教の親戚です（そもそも信仰している神が同じです）。イスラーム教徒が新たに作った教典が『コーラン』なので、『コーラン』＝『旧約聖書』ではありません。ただ、イスラーム教徒にとっても、『旧約聖書』は重要な教典の一つですので、『コーラン』と『旧約聖書』の内容は一部似通っている部分もあります。

・結局、どの国も神の存在を信じて王についていったということで合っていますか？

まあ、これまでのところは、そうと言って良いでしょう。

カルタゴは出張所だと思うんですけどフェニキア人のカルタゴでレバノン杉の木を売っていたんですか？

出張所というよりは、フェニキア人が、シドンとティルス以外に作った新しい町、というイメージです。ですので、レバノン杉などを売っていたわけではなく、カルタゴで独自の文化を築いていきました。

・モーセ以外にも預言者はたくさんいたのか？

たくさんいます。ユダヤ教だけでも20人くらいいますし、イスラームにもいます（キリスト教のイエスも預言者のようなものです）。

・麦を通貨にしていた時は今で言う1円はどんくらいの量だったんですか？

分かりません。「1円」はあくまで現在の貨幣価値ですので、何とも言えません。ただ、麦を通貨としていたというのは、つまり交換する時に、「お、カッコイイお皿がある。売ってくれよ。じゃあ、これくらいの量の麦でどうだい？」というやり方ですので（麦は食べ物なので、いくらあっても困らないわけです）、あなたが1円と交換してもいい、と思う量の麦が、質問の答えになります。

・ヘブライ文字を右から書くのには意味があるんですか？

皆さんは文字を左から書くのが普通かもしれませんが、世界の歴史を見ても文字を左から右に書く文化はたくさんありますし、何ならいまでもアラビア文字は右から左です。あくまであなたの慣れの問題です。

・4王国に分立してからその4個の国同士で争いなどはあったのか。

めっちゃ争っています。割とずっと争っています。

・なぜアッシリアは戦車や鉄製武器を持っていたのか

アッシリア軍が強く、戦車や鉄製武器を使用していたことが有名なだけで、すでに勉強した範囲でも、ヒッタイトの鉄やヒクソスの戦車など、こうしたもの自体はすでにオリエントでは有名だったはずですよ。

・プリントにはオリエントは4つに分裂と書かれているが、音声ではアッシリアは4つに分裂したと言っていた。つまりアッシリア＝オリエントと考えていいということかどうか

全然違います。国名と地域名をごっちゃに考えないで下さい。「豊臣秀吉は日本を統一したが、死後、日本は東と西に分裂した」みたいなものです。「アッシリア」という国が、「オリエント」と呼ばれる地域を統一したけど、それを維持できず崩壊し、「オリエント」と呼ばれる地域に、4つの国が出来た、という意味です。

・貿易ではなぜ鉄を売らなかったのか

売れます。鉄の原料である鉄鉱石は、どこでも取れるものではなく、産地がある程度限られています。でするので、鉄も各地で取引品の一つとして扱われていました。

・ヤハウエは男性ですか？女性ですか？

ヤハウエは神であり、人間を超越した存在ですので、性別などという属性は持ち合わせていません。

・一つの国を潰すのにどれくらいの人がいるのですか？

分かりません。古代の国は、そもそも人口が何人くらいだったのかもよく分かっていないので、戦闘に何人くらい投入されたかは何とも言えません。1000人くらいで国を滅ぼせることもありましたが、また10万人規模の戦争もありました。迎え撃つ国の兵士の人数次第、と言ったところです。

・ユダ王国のユダは、旧約聖書のユダと関係があるのか、気になります。

「ユダ」という名前前の人物は大勢いますが、ご質問の人物は、『新約聖書』に登場するイエスの弟子ユダではなく、『旧約聖書』に登場する、ヤコブ（イスラエル）の子ユダ、ということでしょうか。はい、その通り関係があります。というか、ユダ王国の名前の由来が、まさにこのユダという人物です。ユダ王国は3つの一族によって成り立っていたのですが、ユダの一族がその1つでした。

・昔は偶像崇拜の禁止で神の絵や像は描いてはいけなかったのに、今はダヴィデ王が像になり展示されているが当時も王なら描いてもよかったのか

「神」というのは、人を超越した存在であり、ダヴィデ王などは、しょせんは人間の「王」であり、神ではありません。ユダヤ教にとって神はヤハウエだけなので、それ以外の人間を描くのは全く問題がありません。人間なので。

・前13C頃からアラム語はオリエントの共通語になったのか

紀元前800頃から、オリエント中の石碑にアラム語が使用されているものが見つかるようになってきているので、おそらくその頃にはかなり共通語としての役割を担っていたのではないのでしょうか。

・アルファベットのa,i,u,e,oはフェニキア文字以外のものがもととなっているのですか？ 母音はいつ生まれたんですか？

うーん、めっちゃ良い質問ですね。おそらくは前1000年頃、フェニキア文字に母音がないことを不便に思ったギリシア人が作ったものと思われます。

・旧約聖書にはどんなことが書かれていたのですか？

だいたい、ヘブライ人の歴史、というか物語です。モーセがエジプトからヘブライ人を率いて脱出したとか、ダヴィデ王・ソロモン王の話だとか、バビロン捕囚の話だとかも含まれています。

・フェニキア人の地中海貿易と中継貿易の違いは何ですか？ イスラエル王国と現在のイスラエルの国名がほとんど同じなのはなぜですか？

ほとんど同じなものにも、現在のイスラエルは、昔あったイスラエル王国を意識して同じ名前にしただけです。

**・YHWHを一番最初にヤハウエと読んだのは誰ですか？**

古代のヘブライ人たちは、「みだりに神の名前を口にはいけない」という戒律を守っていたため、もともとの読み方が失われてしまいました。その後、中世のヨーロッパでは「イエホヴァ」「エホバ」のような読み方が一般的になっていました。ここ数百年くらいの中に、学者たちが当時のヘブライ人たちの発音などを研究した結果、「ヤハウエ」ではないか……とう説が一般的になったようで、「誰」かまではよく分かりません。

**・BLEACHにユーハバツハというキャラクターがいるのですが、元ネタがYHVHとされています。偶像崇拝を禁止しているユダヤ教の人はBLEACHを読んではいけないのですか？**

『BLEACH』のラスボス、ユーハバツハは、神の再来と言われ、神の名と知っていながら、自らをYHVH、つまりユー・ハー・ヴェー・ハーと名乗り始めた、という設定の人物です。マジのヤハウエ降臨だとすれば確かに不敬かもしれませんが、神のような存在、という意味での自称「ヤハウエ」ですので、そういう意味ではユーハバツハはヤハウエ本人ではあり得ません。というわけで、偶像には当たらないと考えられます。

まあ、『BLEACH』の千年血戦篇は、基本的にドイツ語っぽい単語が散りばめられているのですが、正確なドイツ語であることもあれば、「ヴァンデンライヒ＝見えざる帝国」なんていう嘘ドイツ語を使うなんてこともあるので、「ユーハバツハ」にかかわらず、言語学的には色々いい加減かなあとと思います。

**・プリントの裏の地図の灰色の部分は何ですか。**

中央の濃い部分がアッシリアの領域、それ以外の灰色の部分は、普通に地面があるところです。

**・アラム人は内陸を中心に貿易を行っていたが、沿岸での貿易はしなかったのか**

アラム人は遊牧民であり、ラクダに乗り移動を行う民族でした。沿岸地域での貿易ももちろん行っていました（じゃないとフェニキア人からフェニキア文字を学べないので）、メインではなかったはずですよ。

**・ヘブライ人がエジプトからパレスチナに戻る時、全員無事だったのか。**

いえ、エジプトからパレスチナに戻るまでに、40年くらいの時間がかかっています。おそらくかなりの人数が脱落したり、死んだりしてしまったのではないのでしょうか。

**・モーセは神と同等ですか**

モーセは人で、神は人を超越した存在です。全く同等ではありません。

**・メディアとリディアが名前が似てるのはなにか理由があるんですか？**

**・なんで国の名前には「～リア」など語尾にiaの音がつくものが多いんですか。**

アッシリア、メディア、リディア、バビロニア、などなど、全部iaですよ。これらの名前はギリシア語に由来しており、当時実際に呼ばれていたというよりは、ギリシア人によって後に名付けられたものです。ギリシア語では「～ia」という形の語がめちゃくちゃ多いので、こういうことになりました。

**・読み書きすることができるのは1部の人だけか**

「一部」ですね。1%くらいです。

### ・ユダヤ教ではヤハウェ、イスラム教ではアッラーと同一の神なのになぜ名前は違うのか

ユダヤ教、キリスト教、イスラームの神は全て同一の存在で、お互いそれを認めています、考え方として、お互いの解釈は間違っている、という考え方をしています。つまり、まずユダヤ教ができ、神をヤハウェと呼びます。ちなみに、「ヤハウェ」とはヘブライ語で「そこにある者」くらいの意味であり、ヘブライ人も仮の名前として「ヤハウェ」と呼んでいるだけなので、強いて言うなら神に名前はありません。次に、ユダヤ教は惜しいけど間違っている、本当はこうだ、という形でキリスト教が出来ますが、この「神」にも名前はありません（英語で言えば God です）。さらに、イスラームが、ユダヤ教・キリスト教は解釈が間違っている、と考えるわけですが、アラビア語では神、つまり God を「アッラー」というのです。

つまり、言語上の違いであり、どの言語でも「神」と呼んでいるだけなのです。

### ・聖書は何に書かれていたのか

いやー、良い質問ですね。聖書の内容は最初は口伝えだったり、ばらばらの史料に書かれたりしていたため、いつ、ひとつの書物としてまとめられたのかはよく分かりません。現在見ついているもののうち最古の聖書は、『七十人訳聖書』と呼ばれる、前3世紀頃のもので、パピルスに書かれていますが、これはヨーロッパで作られたものです（この頃に、長い分量の書物を作ろうとしたらパピルスくらいしか良いものはありません）。

『旧約聖書』は40パートくらいに分かれているものですので、おそらく最初期は粘土板に書かれたり、バラバラのパピルスに書かれるなどして、何百年とかけて一冊の本（パピルスの）にまとめられたのではないのでしょうか。

### ・モーセと繋がりのあるオジマンディアス王のことはやらないのですか

オジマンディアス王は世界史上ではラムセス2世（またはラメス2世）と呼ばれます（オジマンディアス、はギリシア語での呼び方であり、エジプト人はこう呼んでいなかったため）。

さて、ラムセス2世は、例えば新王国時代にシリアを征服するなど、やや細かい知識ではありますが、世界史に出ないわけではありません。ところが、モーセとの関係が教科書に載ることはまずありません。確かにモーセはエジプトのファラオと対立しており、『旧約聖書』にもそのことが載っているのですが、このファラオがラムセス2世であった、という証拠は全くないのです。後の時代に作られた「物語」（ほとんど二次創作ですよ）で、このファラオをラムセス2世とした作品は多いですが、事実としてどうかは微妙なところ（作品によっては、モーセとラムセス2世を、義理の兄弟だった、という設定で描いているものもありますが、これはもう完全に創作です）。

### ・当時の船はどのような機能があったのですか？ 船が沈没することはありましたか？

機能も何も、ほぼ帆がついたボートみたいなもんです。右の図が一番イメージしやすいでしょうか。そりゃもうガンガンひっくり返ったり沈没したりしていたと思いますが、地中海は比較的穏やかな海ですので、割と何となっていたのかもしれない。



### ・中継貿易はらくだで行っていたということですか？

その通りです。なお、ラクダなどを使って行う交易を、「隊商交易」と言います。

### ・何故アッシリアは反乱が起きるのが分かっていたのに強制的に異民族を支配したのか

アッシリアがオリエントという多民族・多文化の世界をまとめ上げようと考えたときに、「押さえつける」以外の解決方法を思いつけなかったのだと思います。

### ・何故フェニキア文字はアルファベットとして今でも使われるほど長く使われているのか

フェニキア文字は今では使われていませんが、アルファベットとして形を変えつつ残っているのは、やっぱりシンプルで書きやすかったからです。

**・ どうして海が真っ二つに割れたんですか**

海が真っ二つに割れるなんて、神が奇跡を起こした以外に説明できますか？ 本当に割れたと思うか、信じるかどうかは、あなた次第です。

**・ アラム語が共通語になったのは単に中継貿易をしていたからですか？**

割と貿易のおかげです。また、アラム語・アラム文字が、当時のオリエントの人にとっては比較的覚えやすい言語・文字だったのかもしれませんが。

**・ 最初に流れた音楽はなんて曲名ですか。**

授業第5回の冒頭の曲は、映画の曲なのでタイトルという感じでもないですが、たぶん「序曲（十戒のテーマ）」です。

**・ フェニキア人が移住して町を作ったとありますが元々いた人たちの反乱は起こらなかったのですか？**

ベルベル人と呼ばれるアフリカの人たちがいましたが、フェニキア人は戦争をしに来たわけではなく、交易のために来たので、カルタゴ建設後も良好な関係だったようです。

**・ ユダ王国の弱い理由が気になる。**

というか、新バビロニアが強かったのです。ユダヤ教がその中で出来たのは、「バビロン捕囚」中のヘブライ人たちの救いとして、だったのではないのでしょうか。

**・ ユダヤ人は酷い仕打ちを受けてやり返そうとかではなく、神に選ばれたと思ったんですか**

武力に優れ、かつかなりの人数がいないと、1つの国に対して反撃する、というのは難しいです。紅葉川高校生で日本という国をのっとりとうと思っても厳しいですよ。世界史上で登場する、反乱を起こしたり、国を作ったりした人たちは、基本的には勝ち組で、むしろ教科書に登場しない、無数の虐げられていた「弱い」民族も大勢いるわけです。その中で、自分たちを救うために、「選民思想」という考えにヘブライ人たちがたどり着いたのは、むしろクリエイティブな発想だと思います。

**・ 海に追い詰められる前に捕まらなかったんですか？**

かなり準備もしていましたし、夜のうちに、隙をついて脱出したので、何とかかなりました。

**・ ユダヤ教の他には選民思想や偶像崇拝の禁止を信仰している宗教はありますか。**

「～を信仰している」は日本語としてどうかと思いますが、それはともかく、偶像崇拝の禁止についてはQ1を参照してください。選民思想はキリスト教の一部にも同様の思想を持っているものがありますが、かなりユダヤ教特有の考え方であると言って良いと思います。

**・ なんで民族の事を～民族じゃなくて～人っていうのか**

～民族、と～人、の違いを一言で言うのは非常に難しいです。「日本人」も「日本民族」と書くことがあります。大きく言えば、まあ、だいたい同じなのですが、「～民族」という書き方は、最近は教科書などではあまり用いられなくなっています。というのも、歴史的に「～民族」という言い方は、例えば自分たちと比べて劣っているとか、悪い意味合いであったりとかの目的で用いられることが多く、また科学的な根拠があまりない時にも、しばしば差別的に「～民族」という言葉が使われてきたからです。

**・ フェニキア文字はなぜ母音がなかったのですか**

なくても当時の人には読めたからです。「MMJGW KK」で「もみじがわ こうこう」みたいに、推測して読む、が彼らにとって普通でした。

**・ 海の民ってまだでできますか??**

ギリシアの歴史の時に1回出てきます。

**・ 内容がごちゃごちゃになって分からなくなってきました。どうしたらいいですか。**

順番を整理しましょう。登場した国を、古い順に、シュメール人→アッカド人→アムル人のバビロン第1王朝……みたいな感じでまとめていくと良いです。で、そこに人名や町の名前などを足して行って下さい。プリントの上部に、国の流れをたまに書いていますので、参考にしてください。

**・全体的に難しかったのでどうやったら覚えられますか？**

世界史はしょせんは歴史です。数学や理科と違って、「分からない」となることはあまりないはず。ですので、まず「分からない」となっている部分は、覚えられるかどうかはともかく、理解できるまで必ず頑張ってください（周りに聞くのが手っ取り早いです）。あとは、うん、暗記ですね……気合いで。

**・再回答はなんの意味がありますか？1回目の点数が成績に反映されますよね。**

最初に配った説明のプリントや、小テストの冒頭にも書いていますが、80点以上が合格点で、何回受けようが、80点取っていれば合格したとみなしています。1回目ではありません。